

2025 年度・司法福祉公開講座

本当は誰かに言いたかった・・・

—孤独から生まれる孤立出産—

目 的: 刑事司法ソーシャルワーク活動にはさまざまな事件が寄せられます。基本的に生きにくさを抱えて事件になってしまった人々の事件です。昨今、孤立出産の末に赤ちゃんを手にかける事件が後を断ちません。彼女たちの多くは未受診で特定妊婦^{注1)}であり、妊娠に気づいたその時から誰にも相談できず孤独であったことが、弁護活動・支援活動の中から聞こえてきます。

注1) 特定妊婦：児童福祉法第6条「出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦」

そこには、孤立、貧困、障害、孤独などがあります。福祉専門職の私たちとしては、事件が起き前につながり支えることはできなかったのか、事件後どのように支えていくかを考えます。日本で初めて、親が養育できない子どもを託せる赤ちゃんポスト「このとりのゆりかご」を設置し、内密出産や飛び込み出産の支援をされている蓮田先生から問題の基本とその活動を学び、司法、医療、福祉等の関係者そして当事者や市民と考えたいと思います。

日 時: 2026 年 2 月 28 日 (土) 午後 1 時 30 分より 4 時 30 分

会 場: 早稲田大学早稲田キャンパス 8 号館 B107 教室 (ハイブリット)

主 催: 公益社団法人 東京社会福祉士会 (豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 5 階)

共 催: 早稲田大学社会安全政策研究所

企 画: 公益社団法人 東京社会福祉士会：司法福祉委員会

内 容 (敬称略)

□基調講演：孤立出産・飛び込み出産・内密出産、そして「このとりのゆりかご」

医療法人聖粒会慈恵病院院長 蓮田 健先生 (オンライン)

□シンポジウム：彼女たちの声を聴く、「声なき声」を聴く

孤立出産事件の弁護をして：東京弁護士会

東京ディフェンダー法律事務所

藤原 大吾 弁護士

孤立出産事件に社会福祉士として関わって：

東京社会福祉士会司法福祉委員会

多田 あい 社会福祉士

医療法人聖粒会慈恵病院院長

蓮田 健先生

指定発言：母子支援施設ポルテあすなろ支援員他

東京社会福祉士会司法福祉委員会

橋本久美子 社会福祉士

定 員: 会場 150 人

受講料: ①一般 2,000 円、②道府県社会福祉士会の会員・保護司 1,500 円、
③東京社会福祉士会の会員・学生 1,000 円

申 込: <https://peatix.com/event/4698637> もしくは二次元コードから申し込みください

申込期間: 2026 年 1 月 5 日 (月) ～ 2026 年 2 月 21 日 (土)

問合先: 東京社会福祉士会：司法福祉委員会 TEL. 03-5944-8466

E-mail: office@waseda-spike.jp 事務連絡先 (早稲田すばいく)

